

ポリッシャープレーティングシステムで施工面をメッキにした後、手塗り専用コート剤を施工することで鏡面メッキを保護します。耐久性に優れた透明度の高い保護被膜は、 手塗りでも長期間に渡って輝きを維持します。

※広い範囲へ施工する場合は、吹き付け専用コート剤の使用をおすすめします。





施工する前に(注意事項)

- ※必ずこの項目を注意深く読み、理解した上で作業を始めてください。
- ■極端な環境での施工は避けてください

湿度 70%以下・室温 10°C~ 25°Cの環境での作業を推奨します。

■保護具(保護メガネ、手袋、マスク等)を着用して作業を行ってください

安全のため作業中は上記の保護具を着用してください。 また、衣服の素材によっては一度付着すると除去できなくなるので注意してください。

■十分に換気してください

換気が十分な環境で作業してください。また、ホコリの少ない場所で施工を開始してください。

■メッキ被膜形成剤で鏡面メッキにした後、12時間以上経過してから施工してください

完全に乾燥する前に手塗り専用コート剤を塗り込むと、鏡面メッキの表面が曇ったり変色する場合があります。

■調合後 5 時間以内に使い切ってください

調合した時点で硬化が始まりますので、5時間を目安に使い切るようにしてください。

■専用バフを使用してください

バフの目の細かさ、固さによっては上手く仕上がらない場合がありますので専用ウレタンバフ (ボート型)を推奨します。

- ■塗り込みに使用したバフは再利用できません
 - コート剤を塗布したバフは洗剤などで洗浄することが出来ません。さらに硬化する為、1 度使用した バフは再利用しないでください。

作業の手順



メッキ被膜形成剤で鏡面メッキを 施工した後、12時間以上乾燥時間 を置きます。



②専用脱脂剤の塗布

付属の専用脱脂剤をマイクロファ イバークロス(別売)に塗布します。 ※専用手直し剤を使用すると メッキ被膜が剥がれるので注意 してください。



施工面全体を脱脂します。 ※キズが入りやすいので、強く 擦らないようにしてください。



4 液剤調合

手塗り専用コート剤の硬化剤を、 主剤のビンに全量注ぎます。



6 中栓取り付け

セットに付属の穴開き中栓を主剤の 瓶に取り付けます。



⑥かくはん

フタを閉めて10往復ほどよく振ります。 ※調合した時点で硬化が始まります。 5時間を目安に使い切ってください。



7 施工範囲の分割

一度に全体を施工せず、数回に 分けて1箇所ずつに施工します。 ⑧~⑪の手順を繰り返し全体を仕 上げます。



3 液剤塗布

手塗り専用コート剤を専用ウレタン バフに塗布します。

垂れない程度、たっぷりとバフに 含ませます。



力を加えず一定の力で優しく 塗り込みます。 塗り込んだ面は 徐々に塗りスジがなじみ平滑に なります。

※何度も同じ箇所をなでると 塗りスジが消えにくくなるため 手早くならしてください。



9 塗り込み(1)

スポークの上面から順に塗り込ん でいきます。

垂れないように隙間なく丁寧に 塗り込みます。



⑩ 塗り込み(2)

続けて側面を塗り込みます。 ※液が垂れた場合は優しくなら してください。

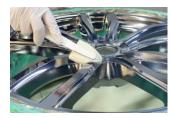


● 塗り残しの確認

塗り残しの部分が判別しやすい為 LEDライト等の光を当てて確認して ください。



液量が少ないとうまく施工で きない場合があります。 次の範囲を施工する前に、液剤 を補充してください。



12 残りの範囲の施工

残りの範囲も同様に⑧~⑪の 手順を繰り返し塗り込みます。



13 乾燥

塗り込み完了後2時間はホコリ等が かからない場所で、手で触れない ようにして乾燥させてください。 ※乾燥後の拭き取り作業などは 必要ありません。



14 施工完了

車両への取り付けや屋外での使用は 12 時間以上経過後行ってください。



表面被膜合成研究所

株式会社クリスタルプロセス TEL:082-493-7700(代) FAX:082-493-7701

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目10-18